



令和3年2月10日

令和3（2021）年度 広島大学バイオデザイン関連科目等履修生募集のご案内

デザイン思考による新ビジネスの創出プロセスを大学院で学んでみませんか？

- 「広島大学トランスレーショナルリサーチセンター」では、本学が広島県と設置した「バイオデザイン共同研究講座」が提供する「バイオデザイン」関連科目（4科目）を令和3（2021）年4月から本学大学院医系科学研究科において引き続き開講することとし、下記のとおり社会人を対象として科目等履修生を募集しますので、ご案内いたします。
- これらの科目は令和3（2021）年度が4年目の開講となります。大学院の正規単位が取得できる「バイオデザイン」関連科目としては国内唯一の開講であり、令和2（2020）年度は4科目で社会人のべ33人（この他に大学院生のべ101人）に受講していただいた実績があります。
- 新型コロナウイルス感染症の影響も考慮し、科目によってはオンラインでのプログラム提供を予定しており、受講場所を問わず、通常業務とスケジュール調整しながら、並行して学んでいただくことが可能となっております。

記

【科目の概要】

◇バイオデザイン概論Ⅰ・Ⅱ（2単位）

内容：バイオデザインによる医療機器開発プロセスを系統的に座学中心で学習
開講時期：4～7月・10～1月（おおむね月2回）
開講場所：原則としてオンライン

◇バイオデザイン演習Ⅰ（2単位）

内容：ニーズ特定から課題解決検討までチームでのワークショップ形式で体験
開講時期：5月（4日間集中形式）
開講場所：本学霞キャンパス（広島市南区霞 1-2-3）

◇バイオデザイン演習Ⅱ（2単位）

内容：事業化を考慮した試作品製作までチームでのワークショップ形式で体験
開講時期：11月（4日間集中形式）
開講場所：本学霞キャンパス（広島市南区霞 1-2-3）

【講師】

学術・社会連携室 バイオデザイン部門長／准教授 木阪智彦
共同研究講座講師 松浦康之 ほか

【募集の概要】（詳細についてはお問い合わせください。）

- ・対象：大学を卒業された方、又は同等以上の学力を有する方
- ・募集期限：令和3（2021）年2月末日まで（書類提出及び検定料納付が必要）
- ・費用：検定料9,800円、入学料28,200円、授業料14,800円／1単位
- ・提出書類：科目等履修生許可願、履歴書、最終学校の卒業（見込）証明書、勤務先所属長の承諾書など
- ・ホームページ：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/news/62792>

〔参考〕バイオデザインとは

- 医療機器の開発に「デザイン思考」の手法を取り入れ、イノベーションをもたらす人材養成プログラムです。米国スタンフォード大学にて確立された後、アメリカをはじめ、インド、イギリス、アイルランド、シンガポールなど、世界中に展開され、20年間にわたる実績をもちます。
- 国内では、東京大学・大阪大学・東北大学に次ぐ4番目の開講です。
- 広島県の協力による共同研究講座において、インド・バイオデザイン（SIB）と連携したプログラムとして運営します。
- 医療現場の徹底した観察により、潜在的ニーズを探索し、本当に必要とされる医療機器の開発につながる手法を習得することができます。
- プログラムでは、医療従事者、デザイナー、エンジニア、経営企画、管理、ファイナンスなど異なる専門分野を持つ多様性のあるチームを編成し活動します。
※「デザイン思考」＝Apple、GE、P&Gなど世界的な企業が導入し、日本のビジネス界でも大きな注目を集めているイノベーション創出手法

【お問い合わせ先】

医療政策室

医療政策・医学系研究推進グループ

TEL:082-257-1573 FAX:082-257-5962

学術・社会連携室

バイオデザイン共同研究講座 迫 浩史

TEL:082-257-1992／1555 FAX:082-257-1993

E-mail:trc@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 4枚（本票含む）

医療機器開発のための新たな人財育成を進めています 広島大学バイオデザインプログラムを 開講します

- 近年の医療現場を取り巻く環境の大きな変化に対応して、これまでの常識を打ち破るようなイノベーションによって、新たな市場を創造し、人々のライフスタイルを変えるようなサービスや商品の開発が求められています。
- 広島大学では、実臨床のニーズの洗い出しから、医療機器等の製造、国際的な市場での商取引に至るまでの一連の医療機器ビジネスを牽引することのできる人財の育成を目指して、インド・バイオデザインと連携し、昨年度に引き続き、令和3（2021）年度も、バイオデザインプログラムを開講することとしました。（コロナ禍の影響を踏まえて、科目によりオンラインでの受講が可能です。）

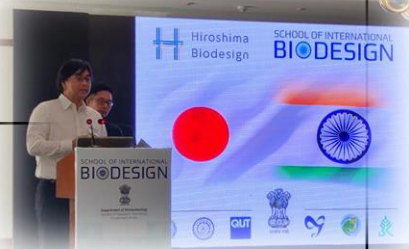


ひろしまバイオデザイン



SCHOOL OF INTERNATIONAL
BIODESIGN

開講時期	令和3（2021）年4月から令和4（2022）年3月まで
場 所	広島大学大学院医系科学研究科〔広島市南区霞1-2-3〕
対 象	大学院生、社会人（科目等履修生の出願が別途必要です。）
出願期間	科目等履修生：令和3（2021）年2月末まで （検定料9,800円，入学料28,200円，授業料14,800円／1単位 が必要となります。手続きの詳細は別途ご案内します。）
開講科目	バイオデザイン概論Ⅰ・Ⅱ（オンライン） バイオデザイン演習Ⅰ・Ⅱ バイオデザイン実習
担当教員 （予定）	准教授 木阪智彦 講師 松浦康之 客員 川瀬真紀 Avijit Bansal（インド・バイオデザイン） 池野文昭（スタンフォード大学） 吉本敬太郎（東京大学） Samuel Abraham（日印再生医療C） 河原敦（薬事コンサルタント）ほか



<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/hiroshimabio>

運営・お問い合わせ

広島大学学術・社会連携室
バイオデザイン共同研究講座（担当：迫）
MAIL: biodesign@office.hiroshima-u.ac.jp
TEL: 082-257-1992／1555



【開講予定科目の概要】

名 称	概 要	スケジュール	単位数等
バイオデザイン概論 I・II	<p>実臨床の現場観察から、気付かれていないニーズを掘り起こし、ニーズ解決の新しい機会を見つけるための問題発見 解決プロセスを、①問題の洗い出し、②既存の解決法についての徹底的な調査、③革新的な解決法を導く手法、④社会的意義のある新たな価値の創出に至る思考方法から構成するカリキュラムで系統的かつ体験的に学ぶ。</p> <p>《令和2（2020）年度受講実績》 概論 I：86名 （大学院生75名、社会人11名） 概論 II：37名 （大学院生26名、社会人11名）</p>	4月～7月 10月～1月 月2日×90分 原則としてオンデマンド配信（一部ライブ配信・対面もあり）	2単位 8コマ×2
バイオデザイン演習 I	<p>多職種のチーム単位で客観的評価指標を共有し、医療現場のニーズを出発点として質の高いアイデアを残すプロセスを実践する。アイデアの認識をチームで共通化し、初期段階から事業化の視点も検証しながら解決策を開発する。</p> <p>《令和2（2020）年度受講実績》 社会人10名</p>	5月11日～14日 9:00～16:20 （4日間集中・対面形式）	2単位 15コマ
バイオデザイン演習 II	<p>多職種のチーム単位で客観的評価指標を共有し、医療現場の潜在的ニーズを具体化するプロセスを実践する。チームで共通化したアイデアに基づいて、市場性と事業化を検証しながらプロトタイプを製作する手法を習得する。</p>	11月9日～12日 9:00～16:20 （4日間集中・対面形式）	2単位 15コマ
バイオデザイン実習	<p><対象者：原則として、フェローシップ等修了者></p> <p>医療現場で得られたバイオデザインプログラムの成果を応用するまでのプロセスを、チーム討論ならびに研究室でのプロトタイプ製作・検索エンジンを用いた市場調査を通じて、実践的なスキルとして習得する。</p> <p>《令和2（2020）年度受講実績》 社会人1名（2019フェロー）</p>	通年 並行実施するフェローシップコースのカリキュラムに準拠し開講（オンライン・対面併用）	1単位

※原則として夏季等の長期休業期間中は授業を実施しません。